

会場レポート

“よい仕事おこし”フェアの最大のお楽しみは、食！ イートインスペースと食品販売エリアは終日、大勢の来場者で賑わっていました。

昨年に引き続き、被災地支援、地方創生のための「興し酒プロジェクト」の日本酒を会場限定販売。今年は47都道府県のお米をブレンドした「絆舞」が加わり、さっそく試飲……といきたいところですが、仕事なのでやむなくガマン！ 後日、本誌でお馴染みの利き酒師の栗田理事に試飲をお願いしました。

その代わりに、全国各地のお米をブレンドした「絆のおむすび」、被災地域の食材で作った「心の寄せ鍋」をいただきました。ふんわり炊かれた優しい味のおむすびと、鶏の出汁のきいたお鍋で身も心も温まりました。

続いて、デザートには埼玉県「をかの」さんの“溶けないアイス”？！ 見た目は普通のアイスですが、葛でできているので、溶けてドロドロにならないそうです。ゼリーを凍らせたような、ぶるぶるした食感最高でした。溶けないので、キャンプなどのアウトドアにもお勧めです。

スタッフへのお土産には、栃木県で有名な「レモン牛乳」と季節限定の「ぶどう牛乳」「コーヒー牛乳」を。これは、全国展開してくれたら、毎日飲みたいほっこりする味でした。

お腹を満たしたところで、他のブースの探索へ。東京新聞のブースでは、誕生日などの記念日の新聞をもらうことができるサービスがあり、人気を集めていました。また、明治安田生命のブースでは、無料で血管年齢をはかってもらいました。結果はマイナス3歳とまあまあ健康的な数値で一安心。(実年齢は秘密です)

様々なブースを回っていると、化粧品や文房具等、たくさんの商品サンプルをいただき、かなりお得な気分になりました。また、ステージでは芸人さんのライブや様々なイベントが終日行われており、私はちょうど「スパリゾートハワイアンズ」のフラダンスショーを見ることができ、大満足の二日間でした。

遊んでばかりいたわけではなく、ちゃんと「小さな親切」運動のPRもいたしましたので、ご安心ください。

(報告 今野那緒子)

おにぎりは、
47都道府県のお米をブレンド！

溶けないアイス？！

栃木県のご当地牛乳！

血管年齢はマイナス3歳！

フェアに先立ち、「絆舞」は
安倍首相に寄贈されました

利き酒師 栗田理事が味わう
「絆舞」はどんな味？

最初に口に入ると、結構甘みを感じます。しかし、そのまま甘いだけでなく、続いて酒麴の味が前面に出てきます。同時にアルコールを感じ、飲みこむと案外スツと喉を通り過ぎ、後を引きません。総じて甘口でやや芳醇、しかしのど越しはスッキリ。おいしくいただきました。

栗田正（「小さな親切」運動本部理事／帝京大学ちば総合医療センター脳神経内科教授）



2018 “よい仕事おこし”フェアへ初出展

「小さな親切」運動をPRしました！

9月19日(水)・20日(木)の2日間、東京国際フォーラムで「信用金庫による地方創世 日本を明るく元気に」をテーマに掲げた大商談会「2018 “よい仕事おこし”フェア」が開催されました。このイベントには47都道府県から212の信用金庫が協賛しており、各地の優れた企業、また地方活性化や地域振興を目指す自治体や団体が大集合。企業や商品のPR、商談を行いました。

各地の信用金庫が「小さな親切」運動に加入されているというご縁もあり、運動本部も初出展。「小さな親切」運動の心と活動を全国の皆さんにお伝えしました。

フェアの来場者は過去最高の4万5,980名を記録し、「小さな親切」運動ブースにも、たくさんの方が訪れてくださいました。

教育関係や福祉関係の方々には、あいさつ運動推進グッズの紹介、また「本当に無料でいいの？」と驚かれながら、本部オリジナル紙芝居のプレゼントを行いました。一般来場者には、作文コンクール、はがきキャンペーン（エッセイコンテスト）の入賞作を集めた過去の作品集をお渡しして、思いやりの心を育てる「小さな親切」運動をPR。

さらに、社会貢献活動として青少年の健全育成を行う企業のご担当者なども立ち寄って下さり、今後の協働の可能性について、お話しをさせていただくなど、実りの多い出展となりました。

「小さな親切」運動の
ブース